資料　2

新地球温暖化対策推進計画の施策体系（案）の概要

現段階での仮設定
今後更に検討

地球温暖化対策に係る課題や方向性の整理として、計画においてさらに詳しく記述する予定

施策体系として、計画においてさらに詳しく記述する予定

仙台市が目指すべき低炭素都市の実現

都市の機能と自然がバランスよく効率的に配置され、私たちの行動や活動が自然に低炭素に向かうようまちの構造、社会の仕組みが整い、過度にエネルギーを消費することなく、質の豊かさを実感しながら、活力あふれる活動が営まれている

温室効果ガスのほとんどを占めるエネルギーの消費に伴う CO2 の削減が急務

化石資源の消費に頼らざるを得ないまちの構造、配置の改善

杜の都の資産を十分に生かしながら、低炭素の面からまちの構造・配置を最適化する

・都心、地域拠点、駅周辺等のそれぞれの役割に応じた機能の配置
　例）中心市街地活性化、東西線沿線まちづくり、郊外団地再構成
・自然を生かし、エネルギー利用が最適化された地域の形成
　例）街路樹・公園等整備、保全緑地、民有地の緑地確保、地域冷暖房の導入
・杜の都の緑の資源の確保
　例）自然公園法等による保全、林業の振興、維持管理活動支援
・適正な配置や構造を誘導する仕組み
　例）都市計画や環境アセスによる誘導、建築物の環境性能評価を利用したインセンティブの創出

まちづくりの根幹をなす交通のあり方を低炭素の面から最適化する

・鉄軌道軸を骨格とする公共交通体系の構築
　例）東西線整備、フィーダーバス再編、駅前広場整備、P&R の整備、乗り継ぎ割引の拡大、IC 乗車券システムの導入
・環境負荷の少ない交通手段の確保と利用促進
　例）モビリティマネジメント、次世代自動車普及、歩行者や自転車を優先した道路環境整備、コミュニティサイクル、物流のモーダルシフト、電気自動車充電設備の設置推進

普及が見えてきた地球温暖化対策技術の浸透、あたりまえのものとしての定着、それらをきっかけとする都市の活力向上

あらゆる場面での低炭素技術・行動の普及を図る

・省エネ機器の普及・利用促進
　例）賢く選択できる情報の周知、市の先導的導入と PR、燃料転換支援
・再生可能エネルギーの普及
　例）太陽光発電設置支援、太陽熱や地中熱ヒートポンプの普及、バイオマス利用促進、バイオ燃料利用促進、市民共同発電
・建築物の省エネ化
　例）建築物の断熱性能の向上、ESCO 事業の推進、建築物の環境性能評価制度の検討

普及を促進し、定着させる社会づくり・仕組みづくり

・行動する人づくり
　例）環境教育、小中学校への低炭素技術の導入、環境交流サロンの拡充、NPO 等の活動支援、HP やマスコミ等を利用した情報提供
・社会の仕組みづくり
　例）カーボンオフセット、基金制度、グリーン購入の拡大、認証制度とインセンティブの創出
・低炭素な産業・経済の育成
　例）産官学の低炭素技術・産業に関するマッチング、環境ビジネスの創出、市の調達制度等における優遇、評価制度又はラベリングの普及

資源循環都市づくりとの統合的な取組みを進めるとともに、その他の温室効果ガスを削減するなど、更なる地球温暖化対策を推進

資源の消費を抑制し、効率的に循環させることによる低炭素化への貢献

資源循環都市の構築

・３R の推進、焼却量の低減化
　例）生ごみの減量・リサイクル、再生可能な紙ごみの分別推進、認知度が低い層への普及啓発強化、緑化ごみ等のバイオマスリサイクルの検討、グリーン購入推進
・中間処理・収集運搬における温室効果ガスの削減
　例）ごみ収集運搬車両の低公害車導入、収集運搬体制の最適化、中間処理施設の省エネ化・高エネ回収、焼却余熱利用の更なる有効活用
・上下水道における取組み
　例）熱の有効利用、汚泥の有効活用、汚泥焼却の高度化

その他の温室効果ガスの削減

フロン等の対策推進

・フロン類（CFC、HCFC）の排出削減の徹底
　例）フロン類の回収徹底、フロン使用製品の使用抑制と適正管理
・代替フロン等（HFC）による温室効果の低減化
　例）ノンフロン又は温暖化係数の低い製品導入、